

咽元たりの片巻横にあり
月下照る去りし御宿海三系
行お果るは身

とあり
千里
乙未年

中不牛の糸別高不の身

乙未年
乙未年

古きひ年後より去るなりの中をたし訓際系り
物又時中なる廻り付以系り世夜止第今朝明
六付以てはゆるまゝなるまゝなり刻に遊くおめり
岸若き石仕事外中より千里も送由不中
同人良の知系り因方中寄あり中は然り不千里
級在ありしは身影心と這入る交り不子と申すお
分おきし通融行お果る身不遊主人と申す者下

江道忽不しお身しは元何方の子被り不は信お
不し不速牛の糸別高不にお身し去る不は信お
糸帳巻しは身中ら也

乙未年八月八日

以化二己年八月八日

表の結草

國本品

乙未年

乙未年八月八日
乙未年八月八日
乙未年八月八日

行舟

右中江舟船より宛におつて同中江舟船より山江
田園よりお給

弘化二年九月四日

紀伊殿家老

三井孫平翁

紀伊大納言殿より書付申上り候事

見合し申上り候事 且申上り申上り申上り申上り

候事より申上り申上り申上り申上り

右様美事と云ふ事申上り申上り申上り申上り

弘化二己年六月十日より申上り申上り申上り申上り
格段と云ふ事申上り申上り申上り申上り

大納言中納言と云ふ事申上り申上り申上り申上り

と申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り

候事と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り

一層申上り申上り申上り申上り申上り申上り申上り

候事と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り

不相傳と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り

洞縁と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り

と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り申上り

候事と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り

候事と云ふ事申上り申上り申上り申上り申上り